

UBE読書のまちづくりビジョンの概要

(案)

今、なぜ読書のまちづくり?

1 人生100年時代の到来

- ・100歳まで生きることが当たり前の社会に
- ・「人づくり革命」、人材への投資

2 Society5.0(超スマート社会)への対応

- ・AI(人工知能)をはじめとしたテクノロジーの急速な進化
- ・スマート自治体への転換をはじめ、仕事のあり方が大きく変化

3 グローバル化の進展

- ・国際交流、外国人観光客・労働者の増加
- ・語学教育をはじめ、多様な文化、歴史、宗教等への理解を促進

4 共生社会の推進

- ・2020年東京オリパラを契機に、バリアフリー社会を加速化
- ・誰もが生き生きと暮らせる共生社会の実現
- ・読書バリアフリー法の制定

5 SDGs(持続可能な開発目標)の推進

- ・あらゆる人々の活躍の推進
- ・「人財が宝」みんなでつくる宇部市SDGs

読書のまちづくりに向けての課題

1 若者をはじめとした読書・活字ばなれの進行

- ・本を読まない市民が約半数(二極化)
- ・スマートフォン、インターネット等の普及による影響

2 読書のまちづくりの拠点となる市立図書館の全面リニューアル

- ・多様化する図書館ニーズへの対応
- ・施設、設備の老朽化
- ・利用者の固定化

3 読書活動を支える人材の確保・育成

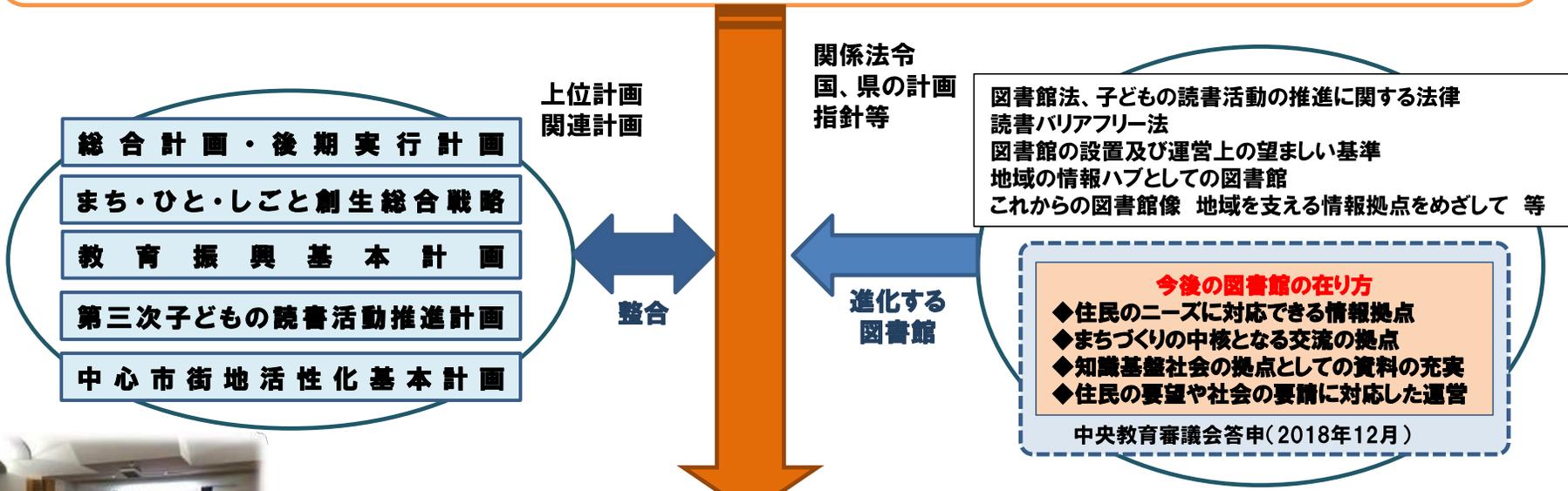
- ・絵本の読み聞かせ、読書活動を支える人材が不足

4 多様な主体の連携・情報発信が不十分

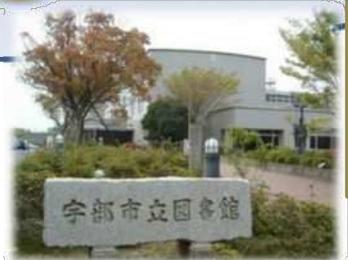
- ・図書館、学校、地域、企業等の情報共有、連携が必要
- ・図書館を中心とした効果的な情報発信ネットワークの確立

5 読書のまちづくりに向けての環境整備・気運の醸成

- ・誰もがいつでも気軽に本が読める場所・空間の確保
- ・年齢層(ターゲット)に応じた効果的な啓発・気運の醸成



本を通じて「ひと」と「まち」が繋がり、ともに成長する 読書のまち 宇部



主な取組

基本方針1 **ひとつづくり** ライフステージに応じた読書活動の推進と読書活動を支える人財づくり

事業概要		取組内容	方向性
子ども・若者の読書活動の推進	子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実	・家庭における乳幼児の読書環境の充実 「イクメンパパの絵本の読み聞かせ講座」の開催等	新規
	若者の読書活動推進の取組	・電子書籍の導入、SNS等を活用した図書館や読書活動推進の情報発信	新規
読書活動の普及啓発	読書活動を啓発する事業の推進	・市独自の読書週間や、読書の日を創設	新規
	企業や団体での読書活動の推進	・読書活動推進企業(団体)認証制度の創設	新規
市民の学びとともに進化 する図書館	SDGs図書館の推進	・SDGs推進センター等と連携し、研修会等を開催	新規
市民の課題解決との連携	健康づくり情報発信と読書の推進	健康関係部局、団体等との連携による啓発イベント、健康教室等を開催	拡充
	ビジネス支援の充実	・ビジネス支援レファレンス体制を関係機関等と連携して構築	新規
高齢者や障害者等への 読書活動支援	高齢者や障害者等がどこでも読書に親しめる環境を整備	・まちかどブックコーナーの拡大、学校図書室の地域開放等の充実	拡充
	図書館への交通アクセスの改善	・利便性の高い図書館へのバス停の設置、バス路線の整備	新規
読書を支える人材の育成・活動支援	読書ボランティア等の人材育成	・読書ボランティアのネットワーク化を推進	拡充

基本方針2 **まちづくり** 市民の誰もが、いつでも、どこでも本に出合えるまちづくり

事業概要		取組内容	方向性
どこでも読書に親しめる 環境づくり	まちかどブックコーナー事業の推進	・新規設置事業者の募集、設置箇所の拡大 ・「まちかどブックコーナー」事業者との協働事業を推進	拡充
	学校図書館の地域開放の推進	学校の管理上支障のない範囲で小中学校図書館の地域開放を推進	拡充
本を通じたコミュニティづくり	読書会、参加型の講演会等の活動を推進	・読書団体等との読書会、参加型の講演会等の開催	拡充
市のまちづくりとの連携	「ガーデンシティうべ」の推進	・花づくりボランティア等と協働で緑と花に囲まれた図書館づくりを推進	拡充
	中心市街地活性化との連携	・図書館マルシェなど、賑わい創出につながるイベントを定期的に開催	拡充
	まちづくりに関する資料等の収集・提供と情報発信	・各部局と連携した企画展示、イベント等の開催など、情報発信の場として活用	拡充

基本方針3 **ネットワークづくり** 読書のまちづくりを進める人・情報・モノのネットワークづくり

事業概要		取組内容	方向性
人がつながる	(仮称)読書のまちづくりネットワークを構築	継続して意見交換や読書のまちづくりに主体的に参加するネットワーク組織を構築	新規
	図書館を中心とした活動による交流、連携の促進	・まちづくり団体等による自主的な企画・運営による図書館イベント等を開催	拡充
情報がつながる	図書館を中心とした情報発信の推進	・字部図書ネットワーク(仮称)を構築し、アプリ、ホームページ、SNS等を集約し、イベント、ボランティア活動等の情報を発信	新規
	出張講座等による情報発信を推進	・地域や企業等に出向いて、読書に関する説明やPR。出張講座等による情報発信を推進	拡充
モノがつながる	図書館と書店との連携	・読書活動の推進につながる情報発信、イベント等の共催	拡充
	広域での図書館連携	県央部(7市町)の活動を利用した広域での図書館サービスの充実・イベント等の共催	新規

図書館の全面リニューアル

「知の拠点」、「集いの場」、「憩いの場」としての誰でも気軽に利用できる図書館づくり

図書館全面リニューアルに向けてのコンセプト

- 1 ICT、AIを活用したハイブリッド図書館
- 2 「サードプレイス」として市民の誰もが気軽に利用・交流できる図書館
- 3 カフェやスイーツも楽しめる「憩い」の場としての図書館
- 4 情報発信・情報交流の場としての図書館
- 5 赤レンガ、彫刻等、宇部の歴史・文化を伝承し、永く愛される図書館



視点		取組案
ICT、AIを活用したハイブリッド図書館	ICT、AI(人工知能)を活用した利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> AI(人工知能)を活用した図書館利用者案内等の充実 マイナンバーカードを図書館利用者カードとして利用できるサービスの導入 等
	電子図書館の推進	<ul style="list-style-type: none"> インターネットによる新聞検索システムの導入 インターネットで利用できる電子書籍の導入、音楽配信システム導入の検討
「サードプレイス」として市民の誰もが気軽に利用・交流できる図書館	SDGs図書館にふさわしい環境にやさしく居心地の良い図書館	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備の更新及び館内照明を全面LED化し、環境負荷削減を推進 館内と芝生広場を繋ぐ出入口を設置し、屋外で本を読んだり、子どもが遊べる空間を整備 等
	誰もが気軽に利用・交流できる空間づくり・レイアウトの見直し	<ul style="list-style-type: none"> 交流スペース、企画展示や情報発信ができるスペースの拡大 香りや静かな音楽を流すなどくつろぎ空間を演出 等
カフェやスイーツも楽しめる「憩い」の場としての図書館	利用者がゆっくり過ごせる場所として、カフェスペースの設置	<ul style="list-style-type: none"> 図書館内にカフェコーナーを併設 芝生広場を有効活用し、テラス席を設置し飲食スペースに 等
情報発信・情報交流の場としての図書館	情報発信・情報交流の場としての図書館機能を充実	<ul style="list-style-type: none"> 健康、環境、ビジネス支援等をテーマとしたイベント、講演会等の共催 調べる場所としての、認知度の向上、レファレンスの充実 等
赤レンガ、彫刻等、宇部の歴史・文化を伝承し、永く愛される図書館	宇部の歴史・文化を伝承し、永く愛される図書館	<ul style="list-style-type: none"> 光庭まで見渡せる空間、歴史と文化を伝承する赤レンガを使用した美しい形、カウンター上のレリーフ等の彫刻の保存 郷土出身の作家やゆかりのある有名人の紹介コーナーを設置 等

主要事業の工程案

事業	R2	R3	R4	R5	R6
読書活動の普及啓発	市独自の読書週間や、読書の日を創設	創設 実施			
	読書活動推進企業(団体)認証制度の創設	創設 実施			
どこでも読書に親しめる環境づくり	「まちかどブックコーナー」設置箇所の拡大 小中学校図書館の地域開放を推進		順次拡充		
本を通じたコミュニティづくり	読書団体等との読書会、参加型の講演会等の開催		順次拡充		
市のまちづくりとの連携	各部局と連携した企画展示、イベント等の開催など、情報発信の場として活用		順次拡充		
人がつながる	(仮称)読書のまちづくりネットワークを構築	組織化	活動		
情報がつながる	アプリ、ホームページ、SNS等を集約し、イベント、ボランティア活動等の情報を発信	組織化	活動		
ICT、AIを活用したハイブリッド図書館	インターネットによる新聞検索システムの導入	導入	運用		
	インターネットで利用できる電子書籍の導入		導入	運用	
図書館全面リニューアル	「知の拠点」、「集いの場」、「憩いの場」としての誰でも気軽に利用できる図書館へリニューアル	基本構想・基本設計	実施設計	リニューアル工事	

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の宇部市の結果について

1 調査概要

(1) 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査期日 平成31年4月18日（木）

(3) 学校数及び対象学年（人数）

- ① 市立小学校：24校 対象学年：第6学年（1,320名）
 ② 市立中学校：12校 対象学年：第3学年（1,295名）

(4) 調査内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
 小学校（国語、算数）
 中学校（国語、数学、英語）
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 ア 児童生徒に対する調査 【小学校：58項目 中学校：69項目】
 イ 学校に対する調査 【小学校：64項目 中学校：80項目】

2 調査結果

(1) 教科に関する結果

① 全体の結果

- 小学校の結果は、国語で全国平均を上回り、算数でも全国平均を少し上回っている。
 ○ 中学校の結果は、数学で全国平均を上回り、国語でも全国平均を少し上回っている。英語は全国平均と同程度である。

小学校 平均正答率		国語	算数
H31	宇部市	67	67
	全国	63.8	66.6
	山口県	68	67

中学校 平均正答率		国語	数学	英語
H31	宇部市	73	62	56
	全国	72.8	59.8	56
	山口県	74	61	55

※平成29年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供

②教科ごとの結果

【小学校国語】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域すべてにおいて、全国平均正答率を上回った。

【小学校算数】

「量と測定」「数量関係」の領域では全国平均正答率を上回ったが、「数と計算」「図形」の領域では全国平均正答率を下回った。

【中学校国語】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域で全国平均正答率を上回ったが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域では全国平均正答率を下回った。

【中学校数学】

「数と式」「関数」の領域では全国平均正答率を上回ったが、「図形」「資料の活用」の領域では全国平均を下回った。

【中学校英語】

「読むこと」「書くこと」の領域で全国平均を上回ったが、「聞くこと」の領域では全国平均を下回った。

(2)生活習慣や学習環境等に関する結果

《子どもたちの意識》

「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」や「人の役に立つ人間になりたいと思う」に対して「当てはまる」と答えた児童生徒の割合が小学校、中学校ともに高い。中学校では、「学校の規則を守っている」や「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた生徒の割合が高い。

《授業》

小学校で「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」や「算数や数学の問題で解き方が分からないときは諦めずにいろいろな方法を考える」に対して「当てはまる」と答えた児童の割合が全国に比べて高い。

中学校では「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と答えた生徒の割合が高い。また、英語の授業についての質問に対して、全体的に「当てはまる」と答えた生徒の割合が高い。

【課題とみられる状況】

《子ども達の意識》

小学校で、「自分には、よいところがあるか」「学校のきまりを守っているか」等の質問で「当てはまる」と答えた児童の割合が全国より低い。

《家庭での生活・学習習慣》

小学校で「朝食を毎日食べているか」の質問に対し、「当てはまる」と答えた児童の割合が全国より低い。「家庭学習時間」について、小中学校ともに「2時間以上」と答えた児童生徒の割合は全国より低い。

《地域との関わり》

小学校で「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあるか」の質問に「当てはまる」と答えた割合が低い。

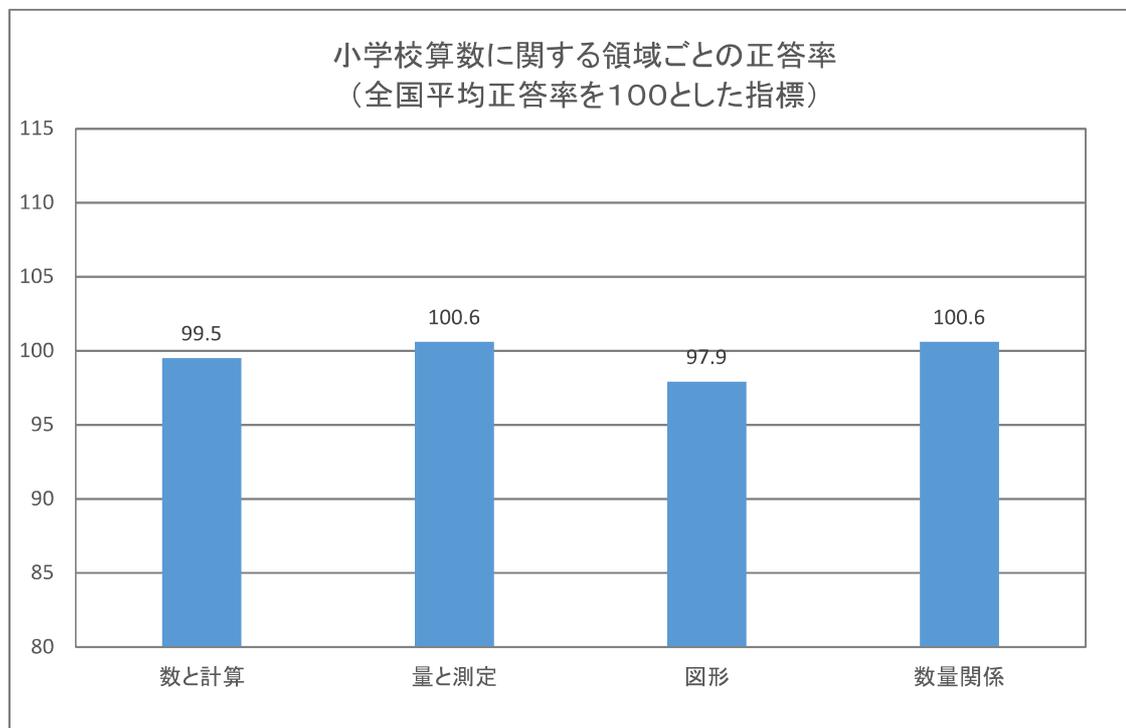
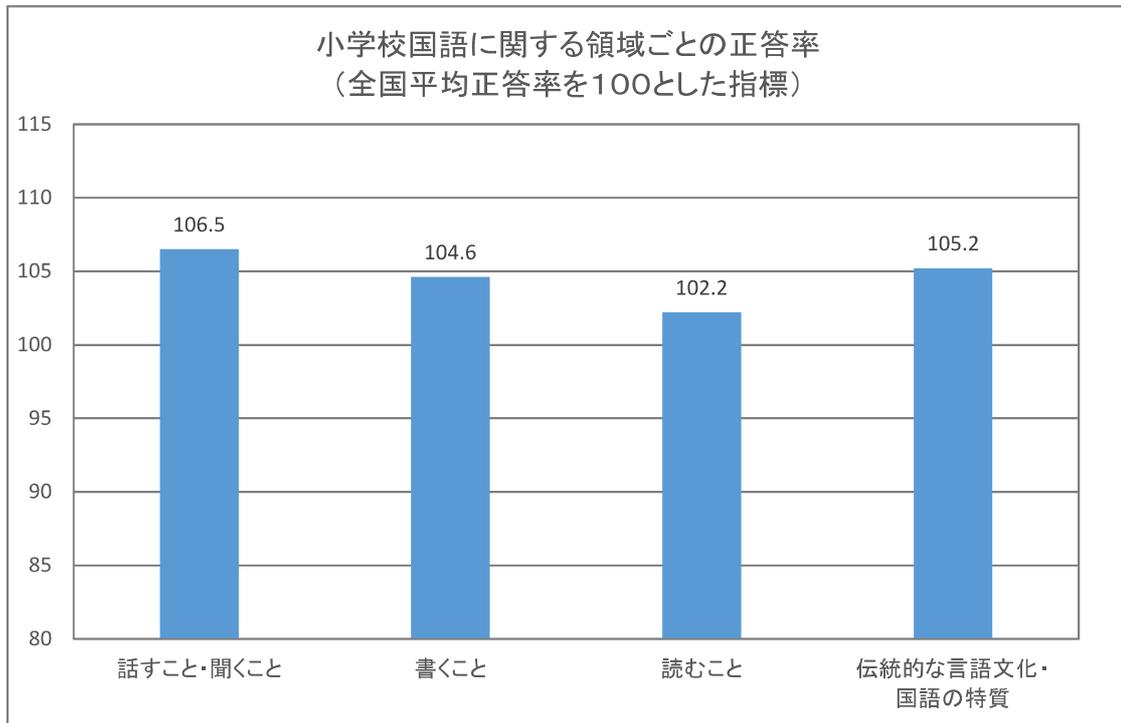
《解答時間について》

調査問題の解答時間は「十分であった」と答えた児童生徒の割合は、小中学校ともに全国に比べて低い。

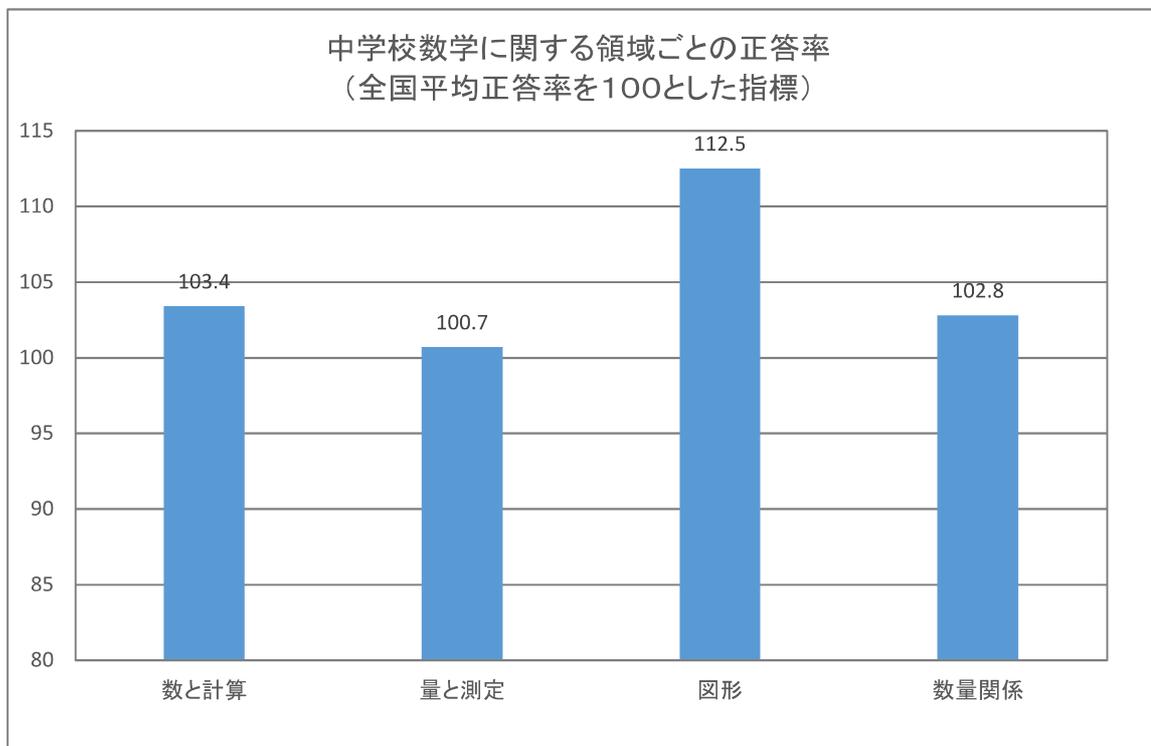
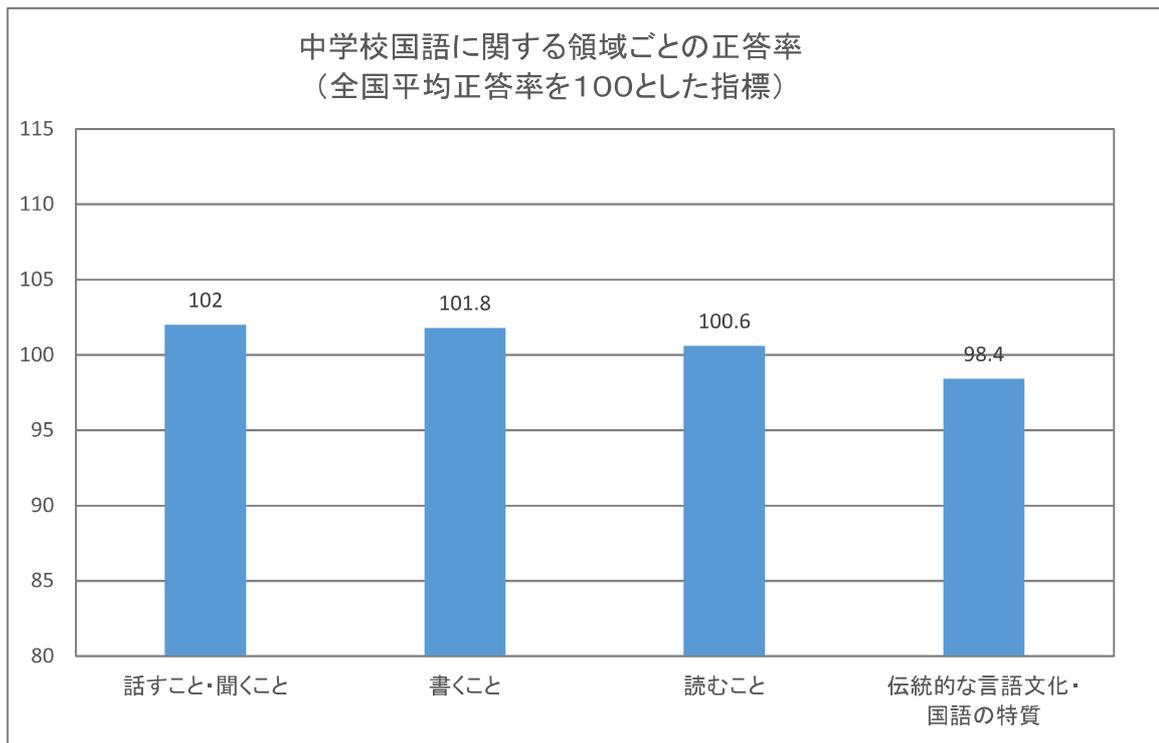
(3) 結果資料

①全国平均正答率を100とした宇部市の平均正答率指標

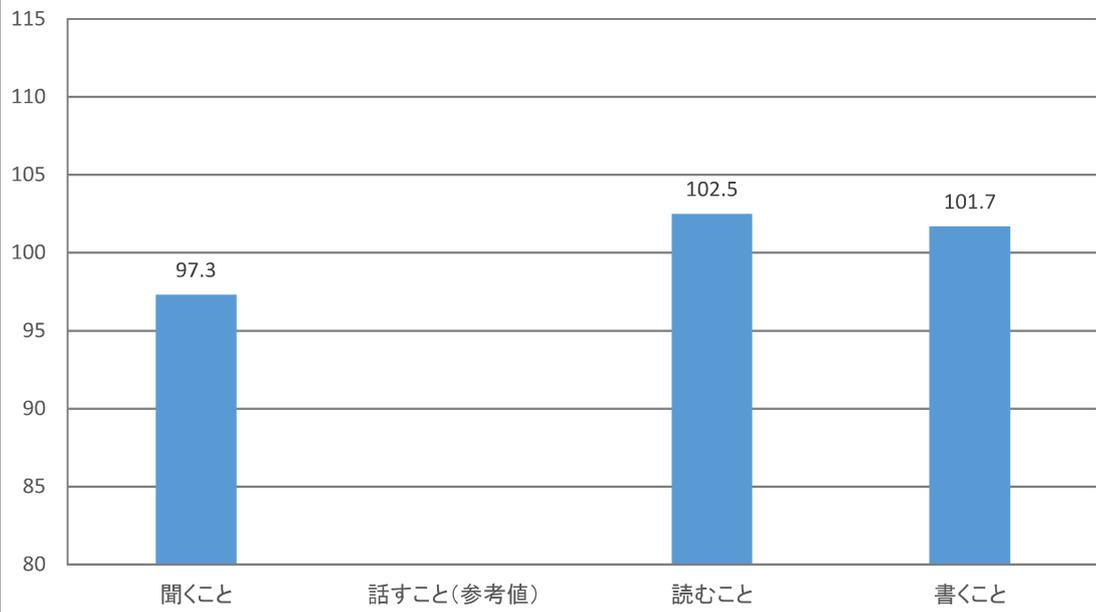
【小学校】



【中学校】



中学校英語に関する領域ごとの正答率
(全国平均正答率を100とした指標)



②平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙結果資料

	No.	質問番号	質問とその回答		宇部市%	山口県%	全国%	全国との差	
子どもたちの意識	1	5	自分には、よいところがある。	小学校	36.7	37.6	38.8	-2.1	△
				中学校	30.8	31.7	29.0	1.8	
	2	6	先生は、あなたのよいところを認めてくれている。	小学校	43.2	46.1	43.1	0.1	
				中学校	41.0	36.8	31.3	9.7	○
	3	7	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。	小学校	61.5	63.4	59.5	2.0	
				中学校	46.7	40.5	37.3	9.4	○
	4	8	将来の夢や目標を持っている。	小学校	67.0	67.7	65.9	1.1	
				中学校	47.1	46.9	44.9	2.2	
	5	9	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。	小学校	81.1	80.2	79.5	1.6	
				中学校	78.9	78.0	75.6	3.3	
	6	10	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。	小学校	31.6	30.6	30.1	1.5	
				中学校	25.0	22.7	22.5	2.5	
7	11	学級みんなで話し合っ決めてしたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある。	小学校	44.8	46.5	45.8	-1.0		
			中学校	49.8	47.4	45.4	4.4		
8	12	学校に行くのは楽しいと思う。	小学校	56.5	56.9	53.9	2.6		
			中学校	51.0	50.4	45.7	5.3	○	
9	13	学校のきまり(規則)を守っている。	小学校	44.2	50.9	46.7	-2.5	△	
			中学校	79.2	73.7	66.8	12.4	○	
10	14	人が困っているときは、進んで助けている。	小学校	41.8	40.1	40.4	1.4		
			中学校	44.9	38.6	34.6	10.3	○	
11	15	いじめは、どんな理由があってもいけないことだ。	小学校	84.2	86.7	85.0	-0.8		
			中学校	84.8	83.4	78.3	6.5	○	
12	16	人の役に立つ人間になりたい。	小学校	78.9	77.1	74.7	4.2		
			中学校	77.8	77.7	71.1	6.7	○	

家庭での生活・学習習慣	13	1	朝食を毎日食べている。	小学校	82.7	86.7	86.7	-4.0	△
				中学校	84.6	85.8	82.3	2.3	
	14	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	小学校	37.0	37.8	38.9	-1.9	
				中学校	36.3	35.2	33.6	2.7	
	15	3	毎日、同じくらいの時刻に起きている。	小学校	59.3	60.2	58.7	0.6	
				中学校	61.8	60.6	57.0	4.8	
	16	4	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話を する。	小学校	50.6	50.8	50.1	0.5	
				中学校	49.6	48.9	46.4	3.2	
	17	17	家で、自分で計画を立てて勉強している。	小学校	33.3	32.7	33.1	0.2	
				中学校	16.8	15.6	14.9	1.9	
18	18	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか。（2時間以上）	小学校	25.5	26.6	29.3	-3.8	△	
			中学校	33.8	30.8	35.5	-1.7		
19	19	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか。（1時間以上）	小学校	17.5	17.3	18.5	-1.0		
			中学校	13.7	14.1	12.4	1.3		
20	20	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行くか。（週に1回以上）	小学校	16.7	18.8	17.7	-1.0		
			中学校	9.8	8.0	8.3	1.5		
21	21	読書は好き。	小学校	43.3	43.2	44.3	-1.0		
			中学校	39.1	42.2	38.9	0.2		
地域との関わり	22	23	今住んでいる地域の行事に参加している。	小学校	35.6	43.3	37.2	-1.6	
				中学校	23.9	26.2	21.0	2.9	
	23	24	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	小学校	16.1	19.2	18.9	-2.8	△
				中学校	12.1	13.2	11.5	0.6	
新聞	24	22	新聞を読んでいる。（ほぼ毎日）	小学校	5.8	6.1	7.0	-1.2	
				中学校	6.3	4.9	4.4	1.9	
外国の人との関わり	25	25	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい。	小学校	40.4	38.3	39.2	1.2	
				中学校	34.4	31.6	33.0	1.4	
	26	26	日本や自分が住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う。	小学校	45.3	46.9	46.7	-1.4	
				中学校	28.0	27.7	25.8	2.2	

国語	27	37	国語の勉強は好き。	小学校	25.7	26.4	26.5	-0.8	
		40		中学校	24.8	28.3	24.6	0.2	
	28	38	国語の勉強は大切だと思う。	小学校	69.7	69.6	68.6	1.1	
		41		中学校	63.6	64.4	59.0	4.6	
	29	39	国語の授業の内容はよく分かる。	小学校	44.0	44.5	41.2	2.8	
		42		中学校	31.7	32.5	28.4	3.3	
	30	40	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	小学校	63.6	65.2	64.2	-0.6	
		43		中学校	55.8	58.8	53.7	2.1	
	31	41	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている。	小学校	37.7	38.2	37.2	0.5	
		44		中学校	37.0	37.6	31.2	5.8	○
32	42	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている。	小学校	38.0	38.9	36.2	1.8		
	45		中学校	42.5	41.4	32.5	10.0	○	
33	43	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由(根拠)を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している。	小学校	23.6	25.6	26.1	-2.5	△	
	46		中学校	26.6	24.8	20.9	5.7	○	
34	44	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいます。	小学校	29.8	30.7	30.3	-0.5		
	47		中学校	31.6	28.9	25.2	6.4	○	
35	45	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題について、どのように解答したか。(最後まで努力した)	小学校	82.0	83.2	80.4	1.6		
	48		中学校	84.6	82.1	79.8	4.8		
	36	46	算数・数学の勉強は好き。	小学校	39.1	39.6	40.6	-1.5	
		49		中学校	36.8	35.6	30.7	6.1	○
	37	47	算数・数学の勉強は大切だと思う。	小学校	74.3	76.2	75.6	-1.3	
		50		中学校	56.3	55.7	49.8	6.5	○
	38	48	算数・数学の授業の内容はよく分かる。	小学校	51.3	51.1	49.3	2.0	
		51		中学校	44.6	41.7	34.8	9.8	○
	39	49	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	小学校	72.6	73.8	72.3	0.3	
		52		中学校	46.2	45.8	40.3	5.9	○
	40	50	算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。	小学校	41.4	41.5	41.4	0.0	

算数	41	51	算数・数学の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う。	小学校	56.0	53.5	51.7	4.3	
	42	52	算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。	小学校	51.4	49.8	46.3	5.1	○
	43	52	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。	小学校	47.8	47.7	47.7	0.1	
	44	53	算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。	小学校	47.8	47.7	47.7	0.1	
	45	55	算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。	小学校	53.8	57.2	57.5	-3.7	△
	46	56	今回の算数・数学の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題があったが、どのように解答したか。(最後まで努力した)	小学校	80.2	81.0	80.7	-0.5	
53		中学校		66.5	62.9	60.8	5.7		
英語	47	54	英語の勉強は好き。	中学校	29.7	31.0	29.0	0.7	
	48	55	英語の勉強は大切だと思う。	中学校	59.8	58.6	58.9	0.9	
	49	56	英語の授業はよく分かる。	中学校	32.8	31.7	29.5	3.3	
	50	41	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある。	中学校	32.8	31.7	29.5	3.3	
	51	57	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	中学校	58.8	58.6	60.7	-1.9	
	52	58	授業以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった。	中学校	15.7	14.5	15.4	0.3	
	53	59	将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたい。	中学校	14.4	14.5	18.2	-3.8	△
	54	60	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていた。	中学校	43.1	40.6	33.6	9.5	○
	55	61	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで概要や要点をとらえる活動が行われていた。	中学校	46.3	42.7	35.7	10.6	○

	56	61	1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちを英語で伝え合う活動が行われていた。	中学校	34.3	29.9	26.0	8.3	○
	57	62	1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた。	中学校	46.3	42.3	41.9	4.4	
	58	63	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた。	中学校	48.4	45.8	41.0	7.4	○
	59	65	1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた。	中学校	49.7	45.5	39.1	10.6	○
	60	52	1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていた。	中学校	43.9	37.9	32.9	11.0	○
	61	37	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。	中学校	39.8	35.9	29.3	10.5	○
	62	38	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。	中学校	22.7	20.4	18.1	4.6	
道徳	63	34	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。	小学校	47.6	48.8	42.1	5.5	○
		中学校		53.9	53.7	34.0	19.9	○	
授業全般	64	30	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。	小学校	38.9	39.5	38.9	0.0	
		中学校		33.1	32.1	26.9	6.2	○	
	65	35	前学年までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	小学校	32.8	33.9	33.0	-0.2	
		中学校		39.8	35.9	29.3	10.5	○	
	66	36	前学年までに受けた授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。	小学校	24.4	24.6	24.7	-0.3	
		中学校		22.7	20.4	18.1	4.6		
	67	57	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	小学校	32.4	32.6	30.3	2.1	
		中学校		46.8	40.0	28.3	18.5	○	
総合的な学習	68	31	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	小学校	23.0	22.9	25.1	-2.1	△
		中学校		23.0	27.4	20.3	2.7		
ICT	69	27	1, 2年生のときに受けた授業では、コンピュータなどのICTをどの程度使用したか。(週1回以上)	小学校	24.2	31.9	30.1	-5.9	△
		中学校		23.5	33.0	30.6	-7.1	△	

I C T	70	28	授業でもっとコンピュータなどのICTを 活用したい。	小学校	61.1	62.3	60.8	0.3	○
		31		中学校	58.1	53.4	48.0	10.1	
学 級 活 動	71	32	学級生活をよりよくするために学級会 で話し合い、互いの意見のよさを生か して解決方法を決めている。	小学校	30.0	29.6	30.1	-0.1	○
		35		中学校	35.4	30.5	25.3	10.1	
	72	33	学級活動における学級での話し合いを生 かして、今、自分が努力すべきことを 決めて取り組んでいる。	小学校	27.1	30.1	28.8	-1.7	○
		36		中学校	28.8	26.2	21.0	7.8	
部 活 動	73	27	学校の部活動に参加してい る。	中学校	92.8	92.2	87.5	5.3	○
解 答 時 間	74	57	解答時間は十分であった。(国 語)	小学校	39.3	40.0	40.2	-0.9	△
		67		中学校	47.9	47.6	53.9	-6.0	
	75	58	調査問題の解答時間は十分であっ た。(算数・数学)	小学校	48.5	47.0	56.3	-7.8	△
		68		中学校	46.2	42.6	50.4	-4.2	
	76	69	調査問題の解答時間は十分だっ た。(英語)	中学校	22.3	23.2	29.1	-6.8	△

※各数値は、以下の回答のうち、「1 当てはまる」を選択している割合

- 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

※○：全国との差が5ポイント以上プラス

※△：全国との差が2ポイント以上マイナス

令和元年度 宇部市就学援助制度について（私立等）

就学援助制度とは、教育の機会均等という見地から、小中学校に就学し、経済的な理由で学用品等の購入が困難な、宇部市に住所を有する児童・生徒の保護者に対して、その費用の一部を援助する制度です。援助の対象となる方は、生活保護法による保護の対象となる方及びこれに準ずる程度に困窮している方です。

就学援助を希望される方は、毎年度申請が必要です。

☆今年度より、私立等についても、援助対象になりましたので、受付を開始します。

就学援助費の認定要件

（①～③のいずれかに該当する場合で、申請をされた方）

- ① 令和元年度において、生活保護法に基づく保護の停止又は廃止の措置を受けた方
 - ② 同居者全員の所得（注1）が、教育委員会の定める基準額の1.3倍未満の方
注1 平成30年中（1月～12月）の所得で判定を行います。
 - ③ 経済的理由によって、生活状態が悪く、就学困難と認められる方
- ※生活保護費（教育扶助）受給者については、申請不要で、修学旅行費のみ援助します。

申請の手続きについて

■ 申請受付開始日

令和元年9月2日（月）から受付を開始します。

- ※ 10月末までに申請して認定となった方は、4月分から援助の対象となります。
- ※ 11月以降に申請して認定となった方は、申請月から援助の対象となります。

■ 申請受付場所

教育委員会総務課（市役所および学校では申請の受付はできません。）

- ※ **申請書は、保護者の方が直接提出してください。郵送での受付は行っていません。**
- ※ 申請書は教育委員会総務課（港町庁舎1階）、宇部市ホームページにあります。

■ 申請に必要なもの

- ◆ 印鑑（認印で可）
- ◆ 保護者（申請者）名義の通帳等、振込する口座番号のわかるもの
- ◆ 借家・アパート等にお住まいの場合は家賃金額のわかるもの（正確な金額を把握している場合は不要）
- ◆ 同居者全員の所得証明書（単身赴任等で別居の場合、生計が同一の場合は同居者とみなします。）

※ **住民票の有無によって異なりますので注意してください。**

平成31年1月1日に宇部市に住民票がありましたか？（同居者含む）

あり→所得証明書は不要です。（所得情報が確認できない場合は、市役所市民税課への申告が必要）

なし→令和元年度（平成31年度）所得証明書が必要です。（平成31年1月1日に住民登録のあった自治体で発行されます。）

※平成11年4月1日までに生まれた方は、無収入でも所得証明書が必要です。

就学援助費で支給されるもの（私立等の場合）

種類	援助内容等
学用品費	定額（学校で集金される教材費と同額ではありません。）
入学準備金	定額（新一年生で4月1日付認定者が対象。）
修学旅行費	実費（限度額あり。修学旅行に参加した時点での認定者が対象）
校外活動費 （宿泊を伴うもの）	交通費・見学料の実費（限度額あり。校外活動（宿泊を伴うもの）に参加した時点での認定者が対象）

結果通知・支給方法について

結果の通知は、提出された書類及び同居者全員の所得情報等により審査を行い、**申請月の翌月末までに郵送します。**
認定となるか否かについて、電話でのお問い合わせにはお答えできません。
認定後の就学援助費は、申請書に記入された口座に振り込みます。

認定となる所得の目安について

（参考、平成30年12月現在）

下表は平成30年度の基準額に基づく4人世帯（父38歳、母35歳、子9歳、子4歳）の場合の所得の例です。
同じ世帯人数でも、家族の年齢構成により認定となる所得は変わります。

	年間総所得	年間総収入
借家の場合	3,390,000円未満	4,920,000円未満
持家の場合	2,970,000円未満	4,390,000円未満

※借家の家賃は40,000円/月で計算しています。家賃の金額によって認定となる所得は変わります。

※年間総所得は給与所得控除等の必要経費を差し引いた金額です。

※教育委員会が定める基準額は、特別支援教育就学奨励費の需要額測定に用いる基準額により変更する場合があります。

問い合わせ先

宇部市教育委員会総務課 宇部市港町一丁目11番30号 電話 0836-34-8604